

「再犯防止×地方創生」トピックス 地方創生研究会、活動しています！

本年度、当会議は、「地方創生研究会」を4年ぶりに立ち上げました。4年前(令和元年度)の地方創生研究会は、網走市において会員自治体の首長等をお招きし、矯正施設見学や意見交換等を実施しましたが、本年度は、有志会員の担当者に御参加いただいて、オンライン会議方式をベースとする年4回の会議を開催し、矯正施設の人的・物的資源を活用した地方創生策等について検討し、国への提言として取りまとめることを目標として活動しています。

令和5年10月27日には、第2回の研究会が府中刑務所において開催されました。今回は2部制とし、第1部で府中刑務所を見学した上で、第2部では対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で、講演と意見交換を実施しました。

第1部の府中刑務所見学では、会員である6自治体にお集まりいただき、被収容者が生活する居室や、作業を実施している工場等を見学しました。縫製を行う工場には、府中市と府中刑務所が連携して製作した、地元スポーツ団体とコラボしたトートバッグが展示されており、製品開発の経緯などについて、参加者から熱心な質問が寄せられていました。

第2部では、現地参集がかなわなかった10自治体もオン

ラインで参加し、「地方創生×再犯防止」の実践等に係る講演と意見交換が行われました。

講演では、網走市から「RE-ENTRY事業」を中心に、網走刑務所の土地を活用した民間企業等との取組を御紹介いただいたほか、京都市とも連携している株式会社MIYACOによる、民間企業視点での刑務作業製品の可能性等についてお話をいただきました。また、法務省矯正局からは、矯正施設の資源活用について、事例を踏まえた説明をしていただきました。

意見交換では、伝統工芸の担い手不足に着目し、工芸品の製作に刑務作業を活用することや、学校のいじめ問題対策に対し、心理の専門家が勤務する法務少年支援センター(少年鑑別所)の地域援助業務を利用することなど、地域の「困りごと」解決に矯正施設の資源を活かす方策などの意見が出され、活発な議論がなされました。

今後、更にアイデアを具体化していき、当会議の目的である、地方創生にも再犯防止にもつながるような国への政策提言を目指して、引き続き活動してまいります。



網走市の講演の様子



府中刑務所庁舎玄関前での記念撮影

(事務局から)

本年度も残すところあと少しとなりました。矯正施設所在自治体会議ではこの1年、4年ぶりとなる対面での総会開催や、地方創生研究会の実施に加え、新たに本機関誌の発行など、矯正官署とも協力しながら地方創生にも再犯防止にも資する取組を積極的に進めてまいりましたが、皆様の自治体と地域の矯正施設との間でも、その連携に何か進展はありましたでしょうか。

本機関誌では引き続き、会員自治体と矯正施設との連携を後押しできるよう、先駆的な取組等を積極的に紹介していきたいと思っておりますので、執筆いただける取組等がありましたら、ぜひ本誌にお寄せください。

来年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

Revitalization そうせい × きょうせい Correction

Vol.04
2024 January

- 狛江市の御紹介
～愛光女子学園との連携～
- 愛光女子学園の地域と連携した取組
～包括協定に基づく取組の実践～
- 「再犯防止×地方創生」トピックス
地方創生研究会、活動しています！



こまえ初春まつり(どんと焼き)

狛江市の御紹介 ～愛光女子学園との連携～

東京都狛江（こまえ）市は、東京都のほぼ中央に位置し、新宿から小田急線で約20分と交通の利便性が高い都市です。面積は6.39㎢と全国で2番目に小さい市ながら、人口82,312人（令和5年11月1日現在）が住む「住宅都市」として発展しています。地形はほぼ平坦で、コンパクトな市です。多摩川・野川や農地・樹林地などの豊かな自然環境にも恵まれており、「ともに創る 文化育むまち ～水と緑の狛江～」を将来都市像に掲げています。市内では季節ごとにイベントも盛んに開催しており、冬にはこまえ初春まつり、春のこまえ桜まつり、夏の狛江古代カップ多摩川いかだレース及び秋の市民まつりには毎年多くの市民が集い賑わっています。

愛光女子学園から学園施設の一部を災害時に役立てることはできないかという旨の申し出をいただいたことを踏まえ、調整の結果、令和2年2月19日に「災害時における福祉避難所に関する協定」を締結しました。協定の締結により、狛江市で災害が発生又は発生のおそれがある場合に、高齢者等の福祉的なケアが必要な方の安全確保を図るため、学園施設の一部である家庭寮を福祉避難所として提供いただけることになりました。本協定の締結を受け、愛光女子学園では施設内のバリアフリー工事や、おむつ交換台、授乳時のカーテンレール等の整備を実施していただきました。令和4年6月12日の狛江市総合水防訓練（福祉避難所設置訓練）では、愛光女子学園家庭寮において福祉避難所の設置・運営訓練を実施しました。

令和5年3月7日には「再犯防止及び地域社会の持続的発展にかかる包括協定」を締結し、より一層の連携強化を図っ

ています。協定の目的として、緊密な相互連携のもとに、人的交流を図り、それぞれの持つ知的・物的資源を相互活用することにより、再犯・再非行防止の推進はもとより、安心安全なまちづくり、市民が活躍するまちづくり、子ども・若者・子育て支援、観光資源の活用や魅力発信による地域活性化、人権・人格尊重教育の実施など、地域社会の持続的な発展に向けた各種取組を、連携して積極的に推進することとしています。具体的な連携の取組としては、在院者による社会貢献活動、愛光女子学園職員による地域貢献、狛江市職員による在院者向け講演等を予定しております。

また、狛江市では令和5年度末の策定に向けて、狛江市第1次再犯防止推進計画の審議を進めております。計画の策定に当たり、狛江市再犯防止推進計画策定検討委員会を設置し、愛光女子学園の職員の方を委員として委嘱させていただいております。愛光女子学園との連携により、再犯防止・非行防止に関する市民の関心と理解を深めていくことができるような取組を今後も進めていきたいと考えています。



「再犯防止及び地域社会の持続的発展に係る包括協定」締結式



狛江古代カップ多摩川いかだレース

愛光女子学園の地域と連携した取組 ～包括協定に基づく取組の実践～

愛光女子学園は、昭和24年に狛江市に開設され、関東・甲信越及び静岡の各家庭裁判所で少年院送致の決定を受けた女子在院者に対して特性に応じた矯正教育及び社会復帰支援を行う少年院です。

狛江市との連携は、過去に市民まつりやいかだレースにおいて在院者が運営の手伝いをしたり、現在も、同市が発祥の地である「絵手紙」の指導に講師派遣の協力をいただいたりしていますが、令和5年3月7日に締結した「再犯防止及び地域社会の持続的発展にかかる包括協定」は、狛江市との連携を一層強化するものとなりました。

同協定に基づく連携取組の一つ目として、令和5年の再犯防止啓発月間中、狛江市役所ロビーにおいて、在院者が製作した作品や、当園における教育活動等を紹介する展示会と、在院者が職業指導で製作したレース編みの販売会を開催しました。展示会は狛江市市民活動支援センターでも開催したほか、レース編みは、狛江市市民まつりでも販売し、多くの市民の皆様から、作品や在院者への感想・メッセージをいただくとともに、当園における教育活動、少年院で在院者の教育・指導等を行う法務教官の仕事、地域社会の協力・支援の重要性等について知っていただく機会となりました。

二つ目は、狛江市教育委員会との連携です。



在院者が製作した狛江市発祥の絵手紙



狛江市役所における展示会とレース編み販売の様子

当園の在院者は、中学生など年齢層の低い者が多く、年齢のほか、性格、能力、発達障害等の特性、成育歴、家族・交友関係、非社会的行動傾向等の非行にかかわる個々の問題性に応じた教育を行っているところ、同年代の子どもたちに対して様々な教育を実施している教育委員会や市内小中学校との連携は、双方の職員が持つ専門性、スキルの向上とともに、在院者と市内小中学生に対する教育の充実強化が期待されます。

まずは相互理解を図るために、双方の教育課程の特徴等について情報共有・意見交換を行い、その後、特別支援教育に関する市内教職員向け研修のオンデマンド動画を当園職員が視聴する機会もいただきました。今後、当園職員が、性教育拠点校である中学校における性教育の授業見学や研究授業への参加などをさせていただいたり、地域の企業や公共機関が有する人材を活用し、地域の教育力向上・活性化を目指す「狛江市地域学校協働活動推進事業」として、市内の中学生向けに法教育やアサーションの出張授業を行ったりするほか、教育委員会等の職員による在院者に対する体育指導を実施いただく予定です。

他にも、小中学校の通学路に位置する当園の立地を活かし、子どもの安全・安心を守る地域活動である「こどもかけこみ110番」の対応や、狛江市の地域包括支援センターの利用者イベントにおいて、在院者が配膳等のお手伝いをする社会貢献活動も実施しています。

今後も、包括協定という継続的・安定的な枠組みを基盤として、ニーズを模索し、試行錯誤しながら、狛江市との連携事例を積み重ね、地域社会に根ざした少年院の役割を果たしていきます。



愛光女子学園。入口には「こどもかけこみ110番」のプレートを設置



市内の桜並木